

1995年は精神保健福祉法が制定された年。同時に、阪神・淡路大震災が。私たちが知るべきこととはどのようなものなのか…

開催日：2025年7月18日（金）

会場：神戸市立総合福祉センター4階A

テーマ：阪神・淡路大震災から30年

—現実問題の生活再建とメンタルヘルスに焦点を当てて—

基調講演

「人間復興の30年 —生活再建の現実と心のケア—」

磯辺康子 神戸大学戦略企画室 特命准教授

／元 神戸新聞専門編集委員

対談

「生活安定剤としての経済的支援が今と未来に果たす役割」

青木聖久 日本福祉大学 教授 × **磯辺康子**

参加費無料：先着45名

主催：（公社）兵庫県精神福祉家族会連合会／（特非）神戸市精神障がい者家族会連合会

／青木聖久研究室

<申込み方法>

下記の、青木聖久のメールアドレスに、①名前（ふりがな）、②所属先（市町村名まで）、③立場、④連絡先⑤どこで研修会を知ったのかを記入し、申込み下さい。

aoki@n-fukushi.ac.jp 6/25✕切

<お伝えしたいこと>

申込を頂いたら、必ず返信（申込番号）をします。仮に、4日を超えて返信が来ない場合は連絡をお願いします。090-5977-4670（問合先）

<プログラム>

13:00～13:30	受付	
13:30～13:40	開会挨拶	新銀輝子（兵家連会長）
	研修会企画の説明、講師紹介	青木聖久（日本福祉大学）
13:40～14:40	基調講演	磯辺康子（神戸大学）
	休憩	
14:50～15:20	対談	青木聖久 × 磯辺康子
15:20～15:40	グループワーク	
15:40～15:55	2グループぐらいから発表・コメント	
15:55～16:05	4点まとめ	
16:05～16:10	閉会挨拶	涌波和信（神家連）

●磯辺康子氏プロフィール:1989年神戸新聞入社。記者6年目で阪神・淡路大震災発生。以後、心のケアや生活・住宅再建をはじめ、震災報道を担当。1997年夏から1年間アメリカに留学し、災害後の心のケアを研究。2008年から2012年まで、記者・編集委員として、東京支社で、東日本大震災の政府対応や被災地の取材。2012年から2015年まで、報道部で災害報道を担当。2016年から、海外において日本語教育関係の仕事、あしなが育英会を経て、2023年から現職。

<会場案内>

【住所】〒650-0016 神戸市中央区橘通3丁目4-1
電話：078-351-1464（代）

【アクセス方法】

- ・神戸高速鉄道「高速神戸」駅より徒歩3分
- ・神戸市営地下鉄「大倉山」駅より徒歩5分
- ・神戸市営地下鉄「ハーバーランド駅」10分、
JR「神戸」駅より徒歩7分
- ・神姫バス「大倉山」バス停より徒歩3分

